

# ジオパークの基本的な考え方

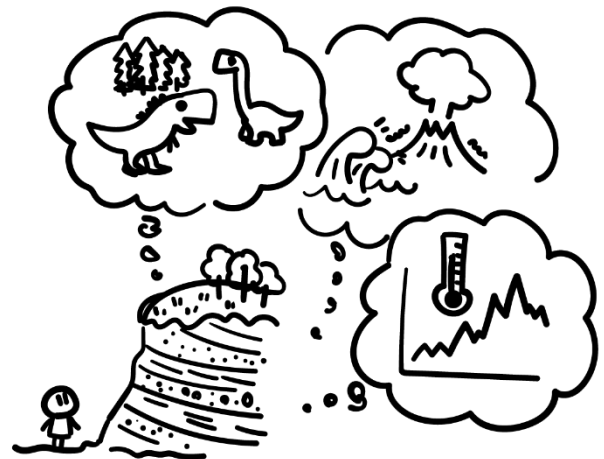
## ● 地質遺産は持続可能な開発の決定要因



地球環境の悪化の原因は、人間社会の活動が本来の地球の仕組みを乱していること。一時的な利益のための人間活動によって地球環境が悪化すれば、結果的に人間社会の存続も危ぶまれる（持続不可能な開発）。人間社会が持続的に発展するためには、地球環境に配慮した手段を選択する必要がある（持続可能な開発）。良いことをしているつもりでも、やみくもに活動するとかえって悪影響を及ぼすことになりかねない。その手段の選択のために、社会が地球活動の仕組みを理解しなければならない。

ところが、現在の社会はその選択方法を知らないか、経済などの人間活動中心の価値観で選択することで、さらに悪い状況を招いてしまっている。

岩石や地層、地形などの地質遺産は、過去の地球活動が生み出したものであり、その出来事や仕組みが記録されている。数十億年の地球活動の情報から地球の仕組みを理解することが、持続可能な発展のための手段を決定するほぼ唯一の方法である。これが、地質遺産の社会的重要性を高めなければならない理由である。



## ● ジオパークは持続可能な発展のための事業

ユネスコ世界ジオパークは、国連の専門機関であるユネスコの事業で、日本ジオパークはその日本版であり、ユネスコ世界ジオパークの理念やガイドラインに沿って活動している。各ジオパークは各地域で活動しながら、ネットワーク（加盟と継続に審査あり）を形成することで社会全体に貢献することを目指している。

### 【目的】

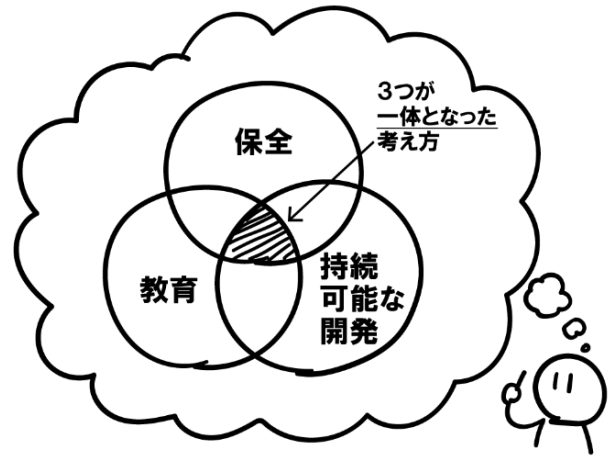
地域の自然や文化などのあらゆる分野と関連の深い『地質遺産（岩石、地層、地形など）』をもって、社会が直面している重大課題（地質資源の持続利用、気候変動の影響緩和、自然災害の被害軽減等）に対する意識と理解を高めることで、持続可能な社会発展に貢献する。

## 【手 法】

地質学的重要性を有するサイトや景観を、ボトムアップあるいは地域住民主導の手法で保全・教育・持続可能な開発が一体となったコンセプトによって地域が管理し地質遺産の重要性を高める。

## 【地域に期待できる効果】

- ・ 地域住民に地域に対する誇りを与える
- ・ 地域の一体感を高める
- ・ ジオツーリズムによる新たな収入源
- ・ 新たな地域産業、雇用
- ・ 高品質の研修の機会が活発化



## ● 地域での活動内容

目的の達成のために、保全・教育・持続可能な開発が一体となったコンセプトのもとで地質遺産を管理し、社会における地質遺産の重要性を高めていくことが地域での活動内容である。活動の大枠は以下の3つ。これらの活動は相互に深い関係にあり、どれか1つでも欠けては成り立たない。

### 【ルールづくり】

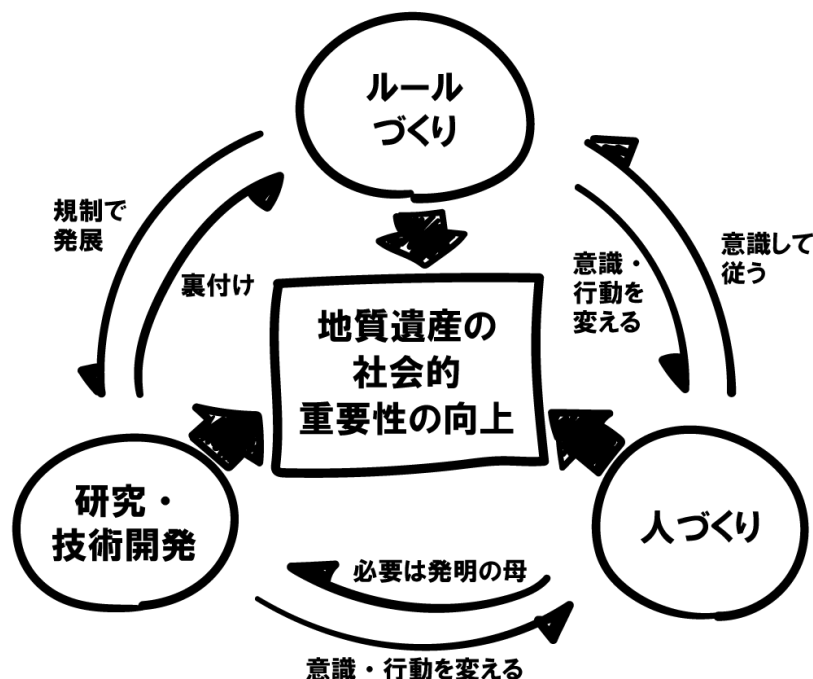
ジオパークの運営や地質遺産の管理に関わる規則を決める。(基本計画、保全計画、法律、協定など)

### 【研究・技術開発】

研究によって新たに地質遺産から地球科学的な情報を得る。またその情報を使った社会発展のための新たな技術を生み出す。(地球科学研究、ジオツーリズム、環境問題解決のための新技術開発など)

### 【人づくり】

地質遺産の重要性（意識）と地球の仕組み（知識）の理解を広める。すべての活動を推進する人材の育成に関わるため、ジオパーク活動の基礎といえる。(各種講座、ジオガイド養成など)



## 【合わせて確認すべき資料】

- ◆ ユネスコ世界ジオパーク ガイドライン（作業指針）
- ◆ ユネスコ世界ジオパーク パンフレット
- ◆ 日本ジオパークネットワーク リーフレット

※日本ジオパークネットワークおよび日本ジオパーク委員会のホームページで公開されている。

JGN：<https://geopark.jp/geopark/pamphlet/>

JGC：<https://jgc.geopark.jp/howtoapply/index.html>